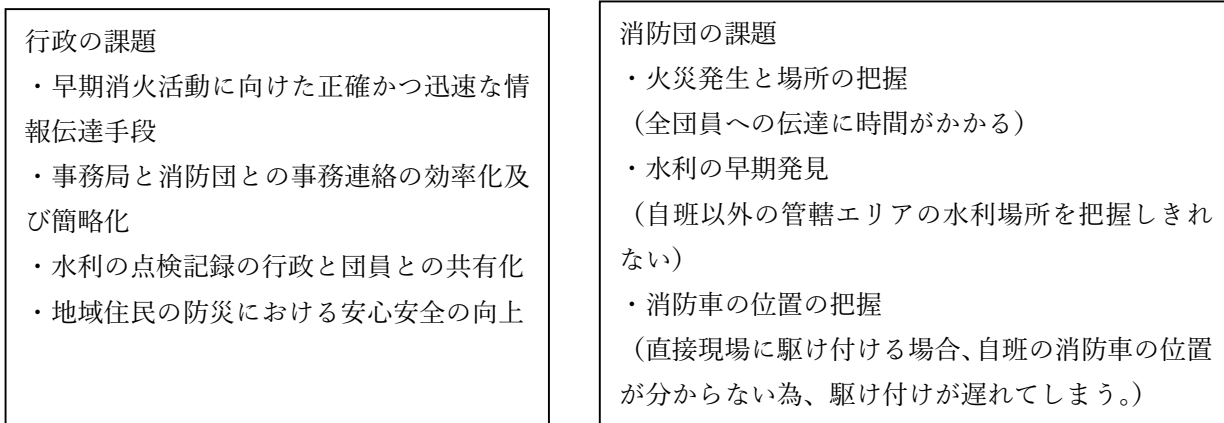


## ご 提 案 書

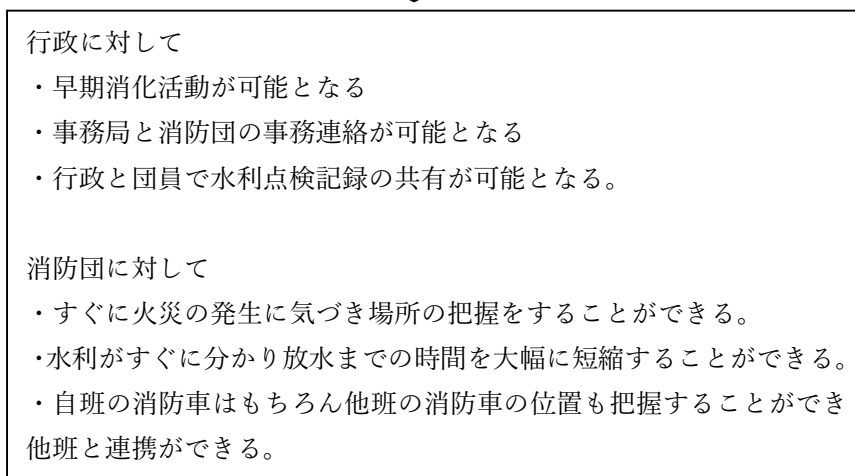
件 名	消防団アシストアプリケーションについて	
内容	名称	消防団アシストアプリケーション S.A.F.E. (セーフ)
	目的	地域防災の中核を担う消防団活動に貢献するために、ICT (情報通信技術) をもって課題解決に取り組んでいく。
	概要	「火災の発生を瞬時に任意の団員に通知する、発災時の消防団員の動態を管理する、現場で迅速に水利を確保する」機能が標準機能として備わっており、火災現場等で高い効果を発揮する。
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防署からの火災通知に団員が瞬時に気づくことができる。</li> <li>・ 消防団員の出勤状況を確認することができる。</li> <li>・ 水利の早期発見ができる。</li> <li>・ 迅速な消火活動を支援し被害を抑制することができる。</li> <li>・ 地域住民の安心安全</li> </ul>
アプリ運営 企業	名称	情報整備局 代表 和田 晃司 情報整備局は平成 29 年度、福島県経営革新計画の承認を受け、国や福島県知事より新規性の高い事業として認定を受ける。
	住所	福島県須賀川市木之崎字向原 27-39
	連絡先	050-5587-7475
	Mail	<a href="mailto:info@sukapo.jp">info@sukapo.jp</a>
	備考	中小企業等経営強化法に基づく事業継続力強化計画において東北初の認定を受ける。特許第 6675723 号 火災情報システム

アプリについて	2015 年	郡山市の Wiz 国際情報工科自動車大学校に防災アプリを提案。授業の一環として生徒のスキルアップに繋がると同校は快諾し防災アプリを制作。IT 技術で地域課題を解決するコンテスト「connect2015with UDC」にて最優秀賞（郡山市長賞）を受賞。	
	2016 年	同校と弊社の共同開発で android 版プロトタイプのアプリケーション開発をする。	
	2017 年	製品化するために弊社単独でさらなる改良を重ね、android 版と iOS 版をリリース。	
企業沿革	2014 年	10 月	消防アプリの事業構想を開始
	2015 年	4 月	情報整備局を創業
			Wiz 国際情報工科自動車大学校と共同開発の構想を開始
	2018 年	3 月	福島県経営革新計画の承認を受ける (ICT による地域防災アプリケーションの開発提供)
	2019 年	2 月	ふくしま復興塾 (第 6 期) にて準グランプリ受賞。
11 月		復興庁主催「新しい東北復興ビジネスコンテスト 2019」にて優秀賞受賞。	
2020 年	3 月	総務省主催「ICT 地域活性化大賞 2020」にて大賞/総務大臣賞受賞。	
	4 月	特許取得 火災情報システム 特許第 6675723 号	

(須賀川市役所生活課の消防担当者、須賀川市消防団長など多くの関係者に現状と課題を聞き取り調査。ほか、県内59市町村を訪問し消防担当者より現状の課題を聞き取り。)



S.A.F.E.を導入することにより



### 自治体の導入実績

2018年7月	福島県須賀川市
2019年8月	福島県古殿町
2019年8月	須賀川地方広域消防本部(水利の活用)
2020年7月～	福島県富岡町、磐梯町、西郷村

### 導入した効果

人災を防止	2019年1月 須賀川市岩瀬地区において火災発生。「S.A.F.E.」の火災発生通知が早く、消防団員が消防車より早く現場に到着、その際に家人(70代男性)がバケツで必死に消火活動をしていたが、火が目の前まで迫っており危険な状態であったため、団員が法被を被せ救出。
その他	・ 全消防団員が情報共有できるシステムにより、出動要請がかかっていない消防団員が自発的に出動して応援に駆け付け、ホースを繋ぎ水利から遠く離れた火災に対応。